

人権

～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.545 子どもたちが安心して過ごせる社会を作る

新聞やテレビで、子どもが被害に遭う

痛ましい事件が報じられることがあります。

「子どもへの性暴力」もその一つで、子どもの尊厳や心身の安全を踏みにじる、決して許されない行為です。2024年には全国で5,000件以上の子どもへの性犯罪が警察に把握されています。県内でも昨年、保育所の職員による、園児へのわいせつ事件が報道されたことは記憶に新しいのではないのでしょうか。

子どもへの性犯罪の多くは、家族や教育・保育関係者など、身近な大人によるものであるという報告もあります。こうした背景から、今年の12月25日には「こども性暴力防止法」が施行され、教育・保育の現場で子どもを性暴力から守る取り組みが進められます。しかし、法律だ

けで子どもを守り切れるわけではありません。私たち大人にできることは何でしょうか。

家庭では、日頃から子どもとの会話を大切に、小さな変化にも気づける関係を築くことが大切です。学校や保育の場では、子どもが安心して過ごせる環境を整えるとともに、職員同士が声を掛け合い、ささいな兆候も見逃さない体制づくりが求められます。さらに、地域社会でも、子どもを見守る目を増やし、おかしいと感じた時に、ためらわず声を上げることが大切です。

子どもには、誰もが安心して健やかに育つ権利があります。子どもの人権が守られる社会をつくるために、私たち一人一人が当事者意識を持ち、家庭・学校・地域が手を取り合いながら、子どもたちを見守り続けていくことが求められています。

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

●いじめについて

益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

●さまざまな人権問題

益城町福祉課人権推進係 ☎ 289-1400

同和教育、障がい者・女性・子どもの人権問題、人権に関する法律相談など、各種人権に関する相談窓口は、町ホームページ「人権についての電話による相談窓口」をご確認ください。



俳句川柳 小春選

校庭に夏惜しむ声暖らし行く 惣領 阪口由美子
猛暑日やベストエイトの汗晴れやか 安永 福山 友子
老いて自由ゆるりと過る穴感い 古閑 今村 恒心
西窓に光ゆらゆらモンステラ 惣領 富田 信子
昇段を期するお清書夏の果て 広崎 大原 郁
ベランダに虫籠七個夏終わる 木山 本田 龍子
延長戦悔し涙の甲子園 福富 井手 悦子
満月の赫に彼岸花揺れる 安永 福山 友子
故郷の岸辺の波音秋めけり 古閑 今村 恒心
ゴーヤジュースの苦心の甘み手に負えず 木山 本田 龍子
木陰まで灼いてしまいうる暑さなり 惣領 富田 信子



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

図 御船警察署 危機管理課

☎ 2862・1110
☎ 32110

令和8年 町内の 事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	8月中	累計
人身事故	9	45
物損事故	93	613
空き巣	0	1
自販機狙い	0	0
万引き	0	10
オートバイ盗	0	0
自転車盗	1	5
車上狙い	0	1



秋から冬にかけては日没が早まり、夕暮れ時から夜間までの時間帯は、特に交通事故が多発します。
「ひのくにピカピカ運動」では、前照灯（ライト）の早目の点灯と反射材の活用を推進しています。
■実施期間
10月15日（木）～令和9年1月31日（日）
■県下一斉に前照灯を点灯する日時
11月6日（金）午後5時
■運動の重点目標
・夜間に外出する時は、反射材を活用し、明るい色の服装を心掛けましょう。
・午後5時を目安に、前照灯を早めに点灯しましょう。対向車や前を走る車がない時は、前照灯を上向きに点灯しましょう。

図 益城西原消防署

☎ 2862・2119

令和8年 町内の火災等発生状況

発生区分	8月中	累計
建物	1	3
車両	1	1
林野	0	1
その他	0	1
警戒出動	0	11
救急出動	194	1277
救助出動	1	8

◆防火と救急
119番通報は、落ち着いて
火災や救急、救助が必要な時の緊急通報ダイヤル「119番」。いざという時のために通報の流れを予習しましょう。
①119番に通報
電話をかけると消防につながります。
②「火事です」、「救急です」
どちらの通報かをはっきり伝えます。
③場所を伝える
住所や目印となる建物を伝えます。
④状況を伝える
けが人・病人の状態を伝えます。
⑤自分の連絡先を伝える
氏名と電話番号を伝えます。
⑥指示に従う
通信員の質問に落ち着いて答え、指示があれば応急手当てを行います。
⑦消防車・救急車出動
通報内容を基に、消防車・救急車がすぐに出動します。

益城の文芸

短歌

末武侑子 選

野の道はほどよき風の吹きてくるつくつくの鳴く盃蘭盆の夕 安永 守住 孝子
黒雲の湧き出でくれば早く来い早く来いぞと夕立待てり 木山 本田 龍子
イワタバコ乾きし岩の陰に咲き息絶え絶えに花を守る葉 馬水 篠原 晴美
日照りでも茂七の遺す水路あり益城の田面は青々として 惣領 富田 信子
月明かり追いかけてこの影ぼうし二羽のうさぎは吾子と我なり 木山 赤城 香織
夕まぐれ大輪の花色重ね陽気漂う紫陽花ゆれる 馬水 増岡 伸禧
贅沢をしないと決めてはいるのだが足がのづと寿司コーナーへ 惣領 垣野 幸一
この星の誰もが仰ぐ月なればひとりぼっちを繋ぐ光よ 馬水 増田 訓子
店先に曲がった胡瓜規格外母の香りと土の香残る 惣領 甲斐 道夫
ふるさとの灯台みゆる縁側でうちわあおいだ日々は遥けし 広崎 大石 高義
手をつなぎ水辺の笹舟目で追えば孫との夏も過ぎてゆくなり 広崎 大原 郁